

I 令和2年度事業計画書

日々の食生活を営む上で必要とされる情報を、その収集にハンディを負った視覚障害者や高齢者にも一般の人々と同様にお届けできるよう、当協会は、様々な活動を展開しております。また、食育基本法が制定されて以来、当協会は、これまでの経験を生かして、人々が健全な食生活を実践できるよう「食育」の推進にも積極的に取り組んで参りました。

当協会を取り巻く情勢を見ますと、超高齢社会の進展に伴い、様々な格差の是正を図るとともに障害のある方々への支援の充実が一層求められております。このため、「食」を通じた健康寿命の延伸と元気で自立した生活を目指す上で、当協会の果たすべき役割は、今後ますます大きくなると見込まれます。

このような状況の中で、日頃ご支援いただいている皆様のご理解をいただきながら、従来の方々の活動を踏まえ、さらに事業内容の見直しを図りつつ、障害者・高齢者への食生活に関する知識と情報の提供、食生活環境のバリアフリー化及び食育に関する事業を推進して参ります。

また、財務状況の改善を進めるため、これまで当協会を支えていただいている賛助会員企業・団体の皆様からの一層のご協力をお願いしてきたところではありますが、本年度も引き続き、協会の事業活動にご賛同いただける新たな企業・団体への働きかけや一般個人等からの支援の獲得に努めてまいります。

1 視覚障害者への音声による食生活情報の提供

① 月刊「声の食生活情報」

食生活に関する知識と情報を録音した月刊「声の食生活情報」について、その内容を充実させつつ、希望に応じカセットテープ又はデージー（デジタル録音図書国際標準規格）対応のCDで、視覚障害者個人、視覚障害者福祉協会、点字図書館、盲学校等へ提供します。また、当協会のホームページや視覚障害者向けの「サピエ図書館」からも音声提供します。

〔(公財) 飯島藤十郎記念食品科学振興財団助成事業〕

〔(一社) 日本フードサービス協会助成事業〕

② 随時提供する食生活情報（小麦粉料理のCD作成）

賛助会員企業のご協力により、視覚障害者にもわかりやすく小麦粉料理の作り方を説明したデージー版CDを作成し、全国の点字図書館、盲学校、視覚障害者福祉協会等に提供するとともに、その内容を「声の食生活情報」や「すこやか食生活ネット」などで提供します。

〔(株) 日清製粉グループ本社助成事業〕

③ ホームページを活用した食生活情報の提供

視覚障害者においてもPCを利用して情報入手する方々の増加に対応して、より気軽に情報に接することができるよう、ホームページを活用した種々の食生活情報の提供について充実を図ります。

2 食生活環境のバリアフリー化の推進

① 食生活改善に関する解説書の作成

当協会は、高齢者や障害者等ハンディを負った方々の自立、自活を支援するため、バリアフリー化に関する諸事業に取り組んで参りました。本年度においては、主食とおかずをバランスよくとるために、ごはんとおかずを一緒にした簡単料理のレシピ集を作成します。

弱視の方を含む視覚障害者本人が利用できるよう、大活字に透明点字を載せ音声コードを付けた使い勝手のよいものとしします。

〔(一財)日本宝くじ協会助成事業 申請中〕

② 視覚障害者への食肉情報提供

シニア層の多い視覚障害者は、購買行動の不便さもあって、高齢者に一般的な動物性たん白質（食肉）の摂取不足がより大きな課題となっています。また、視覚障害者が日常的に入手・利用できる調理レシピは非常に少ない状況にあります。

このため、弱視の方を含む視覚障害者本人が利用できるよう、大活字に透明点字を載せ音声コードを付けた使い勝手のよい食肉に関係したレシピカード集を作成するとともに、それを教材として活用する料理教室を開催し、視覚障害者が豊かでより望ましい食生活を享受できる環境の整備を図ります。

〔(公社)日本食肉協議会助成事業 申請中〕

3 食育の推進

① シニア世代のための食育セミナーの開催

シニア本人と家族、地域社会、食に係わる企業・団体が分担・連携して、シニア世代の食生活に関する課題に対応し、食生活環境を改善するため、様々な食に関する知識・手法を各分野の専門家から紹介いただく市民講座を開催します。

② シニア料理教室の開催

高齢者を対象にして、牛乳・乳製品を使った栄養バランスの良い新しいメニューの普及とそれを通じた牛乳・乳製品の持続的な消費拡大を図るた

めの料理教室を首都圏各地で開催します。

〔関東生乳販売農業協同組合連合会 申請中〕

③ 食育活動の強化

(ア) 超高齢社会において高齢者ができるだけ長く健康・長寿を保ちつつ社会参画が出来る自立した生活を送れるよう、専門家による栄養摂取のあり方についての講演と参加者の体験を踏まえた改善方策について話し合う取り組みを実施します。

(イ) 高齢者の充実した毎日を実現することをめざし、レストランを会場にして、高齢者の食生活の現状や望ましい食生活に関する学習会とバラエティーに富んだ食事をセットにした食育教室を開催します。

(ウ) 視覚障害者を対象にした食育の一環として、食材による味覚の違いなどの食にまつわる学習会と調理実習を組み合わせた食育教室を開催するとともに、新たに食や農業への理解を深めるための体験活動として、作物の収穫体験、食品工場の見学などを実施します。